

参加費
無料

オン
ライン

要事前
申込

激変する 世界のなかの 日本

2026

8月3日 月

13:00-16:20
(12:50開場)

13:00-13:10

開会の挨拶 宇野重規 社会科学研究所 所長

13:10-14:10

重要・新興技術の開発は国際政治に何をもたらすのか

マスロー・セバスチャン 社会科学研究所 准教授 専門分野：国際政治学

人工知能（AI）は、私たちの仕事や勉強に大きな影響を与えています。AIは今日の戦場で使われるドローンや自律型兵器開発のためにも導入されており、現代の戦争にも変化をもたらしています。この講義では、AIのような重要・新興技術（CET）をめぐる大国間の対立をはじめ、国際政治における影響と今後の課題について国際政治学の研究の動向を紹介します。

14:15-15:15

若者のライフコースと親子間支援 ——韓国との比較から日本社会を考える

新藤麻里 社会科学研究所 助教 専門分野：家族社会学，比較社会学，韓国社会研究

激変する社会の中で、若者が大人になるプロセスはどう変わったのでしょうか。本セミナーでは、若者の就職や結婚の遅れが顕著な韓国社会を事例に、若者のライフコースと親子間支援を、日本との比較も交えながら、データをもとに読み解きます。「大人になる」とは何かについても考えてみたいと思います。

15:20-16:20

越境的な環境損害と日本——紛争解決に焦点を当てて

加藤紫帆 社会科学研究所 准教授 専門分野：国際私法

近年、気候変動や環境汚染、生物多様性の喪失など、地球規模の環境問題への対応が世界的な課題となっています。本講義では、そのような法的対応の一つである紛争解決に焦点を当て、環境損害の越境性（損害の越境性、越境的な企業活動による損害）がもたらす法的課題につき、日本（法）を念頭に考えたいと思います。

◇司会・コーディネーター

南山泰之

社会科学研究所 准教授

森本真世

社会科学研究所 准教授

◆会場：オンライン

◆対象：中学校および高等学校教員ほか
(一般の方も参加可能)

◆定員：50名

◆申込締切：2026年7月27日（月）

◆受講証：講義をすべて受講された方には
受講証を発行します
(希望者のみ、PDFにて発行)

◆お申込み方法：

右下の社研ウェブサイトへアクセスし、
必要事項をご記入の上、お申込みください。参加に際し
て配慮が必要な方はお申込時にお知らせください。

◆お問合せ先：

東京大学社会科学研究所
広報室 社研サマーセミナー担当
Email: summerws@iss.u-tokyo.ac.jp

